

暮らし 平和 人権

自維政権と正面から対決し、自民党政治そのものを変える

国民のためにブレずにはたらく

大株主・大企業応援から 国民の暮らし第一の政治に

- 中小企業の支援と一体に 最低賃金1500円以上を目指す
- 賃上げと一体に週35時間労働制を目指す
- 消費税廃止を目指し、緊急に5%に減税 インボイス廃止
- 社会保障の削減路線をやめさせ、拡充にきりかえる
- 教育への公的支出を増やし、教育費の負担軽減を
- 原発の再稼働・新增設反対し「原発ゼロ」を目指す
- 大企業や富裕層に応分の負担を求め、軍事費削減で財源を確保

憲法9条にもとづく 外交の力で平和をつくる

- トランプ政権にひどくも批判できない “アメリカいいなり”外交から自主的平和的外交に切り替える
- 国連憲章と国際法に基づく 平和の国際秩序をつくる外交に取り組む
- GDP比3.5%＝2.1兆円の軍事費増額に 反対し、軍拡増税をやめさせる
- 非核三原則の放棄を許さず、核兵器禁止条約への参加を求める
- 安保法制の廃止、集団的自衛権の容認を撤回
- 対話と協力の外交で平和な東アジアをつくる

ジェンダー平等をすすめて、 個人の尊厳が大切にされる 社会に

- 選択的夫婦別姓、同性婚の法制化を実現
- 男女の賃金格差の是正にむけて、企業に賃金格差実態の公表の拡充を求め、格差是正の計画策定を義務づける
- 差別と分断をおおる極右・排外主義の政治に 断固として反対する



プロフィール

1962年愛知県生まれ。いなべ市在住。63歳。愛知教育大学教育学部卒業。大安町議、いなべ市議を連続6期つとめる。町民、市民のためにはたらく。現在、党北勢地区委員会副委員長。愛読書は「資本論」。

日本共産党

きぬがさ 民子

63歳

たみこ

比例代表は **日本共産党** とお書きください

詳しい政策はコチラから全文がご覧になれます



中道 改革連合

生活者ファースト ~新しい日本がここにある~

1. 今年秋から、恒久的な「食料品消費税ゼロ」実現を 現役世代の「社会保障引き下げ」にも取り組む
2. 減税と生活支援の二刀流「給付付き税額控除」創設を 中所得の方や減税だけでは支援しきれない低所得の方も、まるごと応援
3. 大胆な「未来投資」、教育・科学技術予算の大幅増で日本の成長を 教育・子育て支援など「人への投資」、AIなどのテクノロジー投資
4. 社会保険料負担で取りがちな「130万円のガケ」解消へ 働く方と企業が負担する社会保険料の一部を国が支援する新しい仕組み
5. 家賃補助・安価な住宅の提供で「住まいの安心」を 家賃高騰の今こそ、若者・学生をはじめ 賃貸住宅にお住まいの方にも確実な支援
6. 「食農支払」でコメの安定供給と自給率向上、 食料安全保障の確保 「食」料確保のための「農」地維持に対する直接「支払」制度を創設
7. 「核なき世界」を目指し、非核三原則を堅持しつつ、 必要な防衛力整備で平和をつくる 毅然とした戦略的外交と現実的な安全保障政策で国民を守り抜く
8. 政治とカネの問題に今こそ決着を 企業・団体献金の規制強化、政治資金を監視する第三者機関の創設を

大義なき総選挙。国会での議論から逃げて、支持率の高い間に解散するという暴挙です。予算の成立も大幅に遅れることは確実です。政治資金を規制する本格的な政治改革も完全に先送り。このままでは、国民不在の古い自民党政治が続くだけです。

良識ある中道・改革政治を実現するために大きな決断を。対立をおおる中道・改革政治を実現するために大きな決断を。対立をおおる中道・改革政治を実現するために大きな決断を。対立をおおる中道・改革政治を実現するために大きな決断を。

あ政治を変え断る、



[プロフィール] 衆議院議員選挙連合 当選12回。この間「政権交代可能な政治の実現」という信念を貫く。民主党政権では外相、副総理。立憲民主党で幹事長、外交・安全保障総合調査会長、衆議院選挙対策本部長代理。

中道 改革連合

岡田 かつや

中道 改革連合

I am JAPAN

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷、若くなる一方の国民生活、世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験競争にしがき苦しむ。家族離れや結婚離れという日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるとは、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

“3つの柱と9の政策”

1 日本人を豊かにする

~経済・産業・移民~

1. “集めて配る”より、まず**減税** 減税と社会保障料の削減により、国民負担率を35%に抑え、預金増徴による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。
2. 日本はまだ間に合う**“NO!”移民国家** 労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。
3. **現場の人**が支える日本 製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察、消防、自衛隊等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く

~食と健康・一次産業・エネルギー~

4. **食**は人の**天なり** 食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決めて前へ進めることのない体制を整えます。
5. **エネルギーと資源確保が**生命線**** 諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。
6. **安心医療で**健康国家**** 適切な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育てる

~教育・人づくり・国家観~

7. **子ども一人につき**月10万円**** 0~15歳の子どもの一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつります。
8. **受験競争からの解放** 偏重重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正しく評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。
9. **日本はみんなの家** 日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起し、日本の豊かさと平和を守ります。



新谷 めぐみ

参政党公認

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は ▶ こちらの特設サイトから!



新谷めぐみプロフィール 昭和56年6月生まれ。滋賀県出身、東員町在住。平安女学院大学短期大学部英語コミュニケーション学科卒業。3人の子を持つ母親。上の2人の子が自立したタイミングで日本が変な方向に進んでいかなかと疑問を持ち、第二の人生の始まりなのかもしれない「参政党」から立候補。

食料品の消費税ゼロ

恒久的にゼロ

2024年、1万2520品目の食品が、平均17%も値上げされました。国民の所得は30年上がらないのに、物価は上がり税金も上がり続けています。日本保守党は、毎日生きるのに不可欠な食品から消費税を取るべきではないの考え。酒類含む食品の消費税は恒久的にゼロを主張します。



移民政策の是正 治安悪化に歯止めをかける

関東の一部自治体では外国移民と地域住民の軋轢が深刻化しています。外国人の国民健康保険未納率は4割近くになり福祉のタダ乗りも深刻化。今の野放図な移民政策を是正し、日本人が住みやすく、働きやすく、子育てしやすい国にしましょう。



再エネ賦課金廃止

日本の自然をまもり 電気代を下げ

毎月、皆さんの使った電気の料金に、「再エネ賦課金」が上乗せされていることをご存知ですか。1家庭1万7000円以上(年間)も加算されています。再生可能エネルギー(太陽光・風力発電)は、日本の山や海の環境を破壊し、電力供給を不安定にし、電気代を高くするもの。百害あって一利なし。国会(衆議院)でこれに反対しているのは日本保守党だけです。



憲法改正待たなし

国民を取り返す

日本の近隣国はすべて核保有国。日に日に、隣国からの軍事的脅威が高まっています。北朝鮮に拉致された日本人は、半世紀の間、人生を奪われたままです。憲法9条を改正し、他国の軍事侵略を抑え、国民を取り返す国にしましょう。



移民政策の抜本的見直し 再エネ賦課金の廃止 食品の消費税0

代表/参議院議員 小説『永遠の0』著者 百田尚樹 伊藤まさしさんを 参議院議員/弁護士 北村晴男 応援します。

1枚目の投票用紙 小選挙区は 伊藤まさし 2枚目の投票用紙 比例代表は 保守党

プロフィール

- 1970年1月17日生(56歳)
四日市市立羽津中学校卒業
四日市高等学校卒業
順天堂大学体育学部 健康科学卒業
三重大学大学院人文社会科学部 修士課程修了
元東宝映画 脚本家(八千代工業)
元いなべ市役所勤務
元全日本大学駅伝出陣チームヘッドコーチ(四日市大学)
元し国駅伝四日市市初優勝監督
元桑名市「桑名いきいき」体協 監督
川越町健康講座 10年間開催
ほか各種講演多数
元四日市市議会議員
学習塾経営30年
(特)四日市ウエルネスクラブ代表



日本を豊かに、強く。 日本保守党

伊藤まさし
ついでに... 人生の後半を政治活動へ

個人事業主の傍ら、スポーツ育成を、地域活動を22年、教え子は箱根駅伝出場、場や世界大会でも活躍しました。東日本大震災を契機に政治活動を決意し、毎日ライブ配信街頭活動を続けています。



石原まさたか 6つの政策



1 国民生活の向上

- 物価高対策を迅速・強力に推進
きめ細やかな子育て支援
医療、介護、保育等の分野の人材確保と処遇のさらなる改善

2 地方創生

- 公共交通体系の充実
第一次産業の振興
郵便局ネットワークの強化

3 経済活性化

- 中小企業、小規模事業者への総合的支援の推進
地域資源を活用した観光振興
資源循環型社会の推進
電力需要に応じたエネルギー供給体制の強化

4 国土強靱化

- 人流、物流の円滑化のための道路ネットワークの充実
防災減災のための河川及び海岸の整備
エネルギーや物流拠点としての港湾整備

5 生産性の向上

- 物流業界の課題解決
建設関連産業のデジタル化の推進
行政のデジタル化の推進

6 外交、安全保障

- 同盟国及び友好国との連携による外交の安定化
経済安全保障の強化
サイバーセキュリティの強化

経歴

名古屋大学大学院教育研究科 教育学専攻 博士後期課程 満期退学

職歴

- 名古屋大学大学院 助手・助産部長(3期)
三重県議会議員(1期)
衆議院議員(1期)

その他職歴

- 名古屋大学大学院 産業研究センター 研究員
東海ラジオ放送 パーソナリティ
「石原まさたかの痛快! 風俗談話」
長野県土地改良区理事長
三重県水土地改良区副理事長

石原まさたかプロフィール

1987 孤野町立 孤野中学校卒業
1990 三重県立 四日市南高校卒業
1995 名古屋大学卒業
その後の大学院博士課程へ進学
2003 三重県議会議員選挙 31歳で初当選(1期)
2007 孤野町長選挙 35歳で初当選
当選の最年少町長(3期12年間)
2021 衆議院議員総選挙 比例代表(東海ブロック) 49歳で初当選



自民党 自民党公認

石原まさたか 54歳

強い日本、豊かな日本を作っていくためには地方に経済対策を押し進め、その効果を地方・中小企業へと波及させることが日本経済の最重要課題です。その実現のため、石原まさたか6つの政策に、重点的に取り組むことをお約束いたします。

行動と実現

地域の力を政治の力に

第51回衆議院議員総選挙 第27回最高裁判所裁判官国民審査

投票日は 2月8日(日)

【期日前投票】2月7日(土)まで

- ※障がいなどで自書することができない方には係員が代筆する「代理投票」、視覚に障がいのある方には「点字投票」の制度があります。希望される方は、投票所で係員にお申し出ください。
※選挙公報は、音訳版・点訳版も作成しています。必要な方は、県選挙管理委員会又は市町選挙管理委員会までお問い合わせください。
※投票所へは、介護をする方等と一緒に入ることができます。
※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、選挙権がある場合は、投票できます。詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせ下さい。

「私たちの明日のために、想いをのせた一票を。」

三重県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。)



選挙管理委員会連絡先一覧

